

アラウンド・ザ・ワールド 2

Around the World

第110回

女性のウェルビーイングを守る

アラウンド・ザ・ワールドPart2の110回目は、インドの女性向け保険商品を考察する。女性の社会進出が進む中、女性本人やその家族を支援するアプローチとは？

(RGA再保険会社提供)

インドにおいて、今日の女性には介護者であり、職業人でもあり、家族のよりどころになっていく。しかし、女性特有の健康問題にしばしば直面し、その重要な役割を果たせなくなることがある。がん、妊娠合併症、骨粗鬆症といった加齢に伴う疾患など、女性が切り抜けないといけない疾患リスクは多岐にわたり、経済的な負担も重い。

このプラシはインドの保険市場において、女性向けの医療保険の大きなギャップを埋めてくれる。また、女性における特定の疾患リスクの増加や予想外の健康問題に起因する経済的な落とし穴といった問題も浮き彫りにする。

果によると、女性が認識する主な健康不安は、がん、心血管疾患、婦人科疾患だ。

不安を感じるのほもつともなことで、乳がんはインドで最もよく見られるがんであり、NCRP（インドのがん登録プログラム）によれば、女性の全てのがんの28・8%を占める（2022年の調査）。18年の調査によ

アジアでは、乳がんに起因する死亡は40年までに61・7%へ増加すると予測されている。また、24年の調査によれば、インドは子宮がんの新規症例の5分の1を占める。死亡原因では約4分の1が子宮がんだ。グローバルな観点でもインドは子宮がんの主な発生源国といえる。

また、心疾患もインドに広がっている。しかし、

保障のギャップを埋める女性特定疾病保険

ると、女性の乳がんの年齢調整罹患率は1990年から2016年までに39・1%上昇した。このトレンドは過去26年間、インドのどの州にも見られる。乳がんは世界的にも女性のがんの主な死因であり、女性の全てのがんの4分の1を占めている。さらに、世界保健機関の外部組織、国際がん研究機関によると、東南

人女性にはよく見られる。20年の調査によると、虚血性心疾患はインド男性に比べて女性において急速に増加している。この性別による差異は、女性における過体重、糖尿病、喫煙、歯周病の増加に起因している。

このように深刻な疾患リスクに直面しながらも、インドでは、健康問題の大半は実損でん補型医療保険（個人保険または団体保険）で対応できないという間違った認識が広がっている。しかし、

実損でん補型医療保険では全ての医療費が戻るわけではなく、疾患を抱える女性の家族は病気に伴う間接的な費用のせいで経済的な苦境にさらされる。ICICI PRU Wishは、病気に伴う直接的および間接的費用のいずれにも対応できる一時金を支払い、顧客は各自の自由裁量で使うことができる。これには、手術、遺伝子検査、リハビリコスト、長期的な投薬治療費用等も含まれる。

女性による子宮摘出術を含む10種類の手術が対象だ。おそらく最も先進的なのは「ヘルスケアプラン」に含まれるオプション「妊娠・出産給付金」で、子宮外妊娠や分娩後出血等の妊娠合併症9疾患および新生児の先天性欠損症13疾患が対象だ。これにはインドで最もよく見られる先天性心臓欠損7疾患も含まれる。

「妊娠・出産給付金」は、妊娠に関連するオプションが含まれ、新生児の一般的な先天性欠損症もカバーされている点で、インドの女性を対象にした保険商品の中でもユニークだ。

先天性欠損のある新生児の治療は、ときには何回もの手術が必要になり、出産後の入院が長引き、家族の経済的負担につながる。患者には、理学療法、作業療法、言語療法、摂食嚥下訓練等、集中治療が必要になる可能性もある。車いすや装具、コミュニケーション・デバイス等の専門的な設備、生活のしやすさを向上させる住宅の改装工事等により、費用負担は増す。一時給付金の支払いは、こうした経済負担の低減の一助になる。

特定疾病保険は、究極的には死亡保障ではなく生きるための保険であり、女性やその家族が健康に関する苦難を切り抜け、その先へ進むための支援をしてくれる。

インドにおける女性の健康トレンド

この重大なニーズを認識し、RGAインド支店はICICIフルデンシヤル・ライフ・インシュアランスと協力し、業界初の商品内容の女性特定疾病保険「ICICI PRU Wish」を開発した。ライフステージ

商品を開発するため、RGAインド支店はフォークス・グループ・インタビュを実施し、保険を求める女性の詳細なニーズと購入にあたっての障壁を特定した。調査結

果によると、女性が認識する主な健康不安は、がん、心血管疾患、婦人科疾患だ。

不安を感じるのほもつともなことで、乳がんはインドで最もよく見られるがんであり、NCRP（インドのがん登録プログラム）によれば、女性の全てのがんの28・8%を占める（2022年の調査）。18年の調査によ

アジアでは、乳がんに起因する死亡は40年までに61・7%へ増加すると予測されている。また、24年の調査によれば、インドは子宮がんの新規症例の5分の1を占める。死亡原因では約4分の1が子宮がんだ。グローバルな観点でもインドは子宮がんの主な発生源国といえる。

また、心疾患もインドに広がっている。しかし、

実損でん補型医療保険では全ての医療費が戻るわけではなく、疾患を抱える女性の家族は病気に伴う間接的な費用のせいで経済的な苦境にさらされる。ICICI PRU Wishは、病気に伴う直接的および間接的費用のいずれにも対応できる一時金を支払い、顧客は各自の自由裁量で使うことができる。これには、手術、遺伝子検査、リハビリコスト、長期的な投薬治療費用等も含まれる。

女性による子宮摘出術を含む10種類の手術が対象だ。おそらく最も先進的なのは「ヘルスケアプラン」に含まれるオプション「妊娠・出産給付金」で、子宮外妊娠や分娩後出血等の妊娠合併症9疾患および新生児の先天性欠損症13疾患が対象だ。これにはインドで最もよく見られる先天性心臓欠損7疾患も含まれる。

「妊娠・出産給付金」は、妊娠に関連するオプションが含まれ、新生児の一般的な先天性欠損症もカバーされている点で、インドの女性を対象にした保険商品の中でもユニークだ。

先天性欠損のある新生児の治療は、ときには何回もの手術が必要になり、出産後の入院が長引き、家族の経済的負担につながる。患者には、理学療法、作業療法、言語療法、摂食嚥下訓練等、集中治療が必要になる可能性もある。車いすや装具、コミュニケーション・デバイス等の専門的な設備、生活のしやすさを向上させる住宅の改装工事等により、費用負担は増す。一時給付金の支払いは、こうした経済負担の低減の一助になる。

特定疾病保険は、究極的には死亡保障ではなく生きるための保険であり、女性やその家族が健康に関する苦難を切り抜け、その先へ進むための支援をしてくれる。

アデITY・ゴエル

日本語監修 日本語訳
RGA インド支店
デピュティ・チーフ・マネージャー・メディカル・サービス
RGA リンシユアランスカンパニー日本支店 通訳
マネージャー ビジネス・デベロップメント部

山本あゆみ

日本語監修 日本語訳
RGA リンシユアランスカンパニー日本支店
マネージャー ビジネス・デベロップメント部
高田 優樹



ランド氏



高田氏